

## 第32回中国中学校柔道選手権大会要項

- 1 目的 本大会は、中学校教育の一環として中学生徒に広く柔道実践の機会を与え、技術向上とアマチュアスポーツ精神の高揚をはかり、心身ともに健康な中学校生徒を育成するとともに、中学校生徒の相互の親睦をはかるものである。
- 2 主催 中国中学校体育連盟 鳥取県教育委員会 米子市教育委員会  
中国地区柔道連盟
- 3 主管 鳥取県中学校体育連盟 米子市中学校体育連盟 鳥取県柔道連盟
- 4 後援 鳥取県中学校長会 (公財)鳥取県体育協会 鳥取県柔道整復師会  
新日本海新聞社
- 5 会期 平成28年8月9日(火)～10日(水)
- 6 日程
- 8月9日(火) 開館 9:00  
(1) 受付 9:30～10:30  
(2) 非公式計量 9:00～10:00  
(3) 公式計量・服装検査 10:00～10:30  
(4) 審判会議 10:30～11:00  
(5) 監督会議 11:00～11:45  
(練習9:00～11:30本会場)  
(6) 開会式 12:15～  
(7) 試合開始(団体戦) 開会式終了後15分後より  
(8) 表彰式(団体戦) 16:00～
- 8月10日(水) 開館 8:30  
(1) 審判打合せ 9:00～ 9:30  
(練習8:30～9:20本会場)  
(2) 試合開始(個人戦) 9:45～  
(3) 表彰式(個人戦) 14:00～  
及び閉会式 14:30(大会全日程終了)
- 7 会場 鳥取県立武道館  
〒683-0853 米子市両三柳3192-14 TEL (0859)24-9311
- 8 参加資格
- (1) 参加者は、各県中学校体育連盟加盟の学校に在籍し、学校教育法第1条にもとづく当該中学校の生徒であること。
  - (2) 年齢は平成13年4月2日以降に生まれた者に限る。
  - (3) 前項以外の生徒が参加を希望する場合は、その年度の6月30日までに、各県中学校体育連盟を通して、(公財)日本中学校体育連盟に申し出ること。
  - (4) 学校教育法第134条の各種学校(1条校以外)に在籍し、各県中学校体育連盟の予選会に参加を認められた生徒であること。
  - (5) 各県中学校体育連盟主催の競技大会において、中国大会参加資格を得たチームまたは個人とする。
  - (6) チーム編成は1校単位で編成されたものとする。
  - (7) 夏季大会に限り、同一年度内の参加は全種目を通じて一人一回とする。
  - (8) 個人戦は、(5)の項の個人戦の部より選抜されたものとする。
  - (9) 参加生徒の引率・監督は、出場校の校長・教員に限る。  
但し、個人種目への参加について、校長・教員が引率できず、校長がやむを得ないと判断した場合に限り、「中国中学校選手権大会引率細則」により、校長が引率者として承認した外部指導者の引率を認める。その際には、所定の書類を実行委員会に提出すること。
  - (10) ベンチ入りをするコーチは、1校・1チーム1名とし、他校のコーチを兼務することは認められない。また、他中学校の校長・教職員には、その資格がない。
  - (11) 外部指導者・コーチなどのベンチ入りに関しては、所定の様式で報告書を提出すること。

(12) 個人情報の取り扱い（利用目的）

大会の主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、中国中学校体育連盟個人情報保護方針・規定に基づき、取得する個人情報について適正に取り扱う。

取得した個人情報は、競技大会の資格審査・競技大会運営上必要なプログラム編成及び作成・ホームページ・掲示板・報道発表（記録表）等、その他競技運営及び競技に必要な連絡等に利用する。

9 大会負担金

- (1) 登録選手一人につき、2,000円とする。  
(2) 納入方法は、各県中体連の事務局の指示による。

10 参加制限

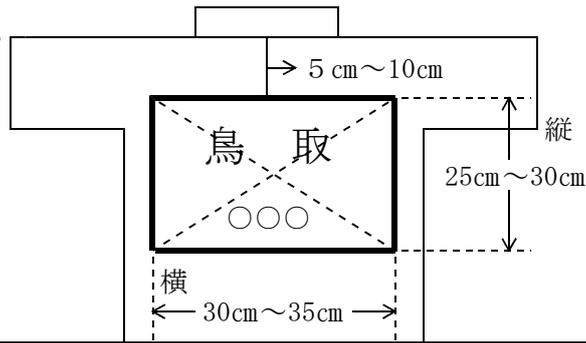
- (1) 団体戦は、各県2チーム、開催県4チームの合計12チームとする。  
1チームの編成については、男子チームは監督1名、コーチ1名、選手7名以内。  
女子チームは監督1名、コーチ1名、選手5名以内とする。  
試合ごとに選手の位置を変えることはできない。  
チームの編成は、体重の重いものを大将とし、以下順次体重順に編成する。
- (2) 個人戦は、男子8階級・女子8階級で、各階級とも各県2名、開催県は4名の合計12名とする。  
男子－50kg級, 55kg級, 60kg級, 66kg級, 73kg級, 81kg級, 90kg級, 90kg超級  
女子－40kg級, 44kg級, 48kg級, 52kg級, 57kg級, 63kg級, 70kg級, 70kg超級
- (3) 脳震盪対応について  
選手および指導者は下記事項を遵守すること  
①大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場  
の許可を得ること。  
②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可と  
する。（なお、至急、専門医（脳神経外科）の精査を受けること。）  
③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。  
④当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告  
書を提出すること。

11 競技規則

- (1) 国際柔道連盟審判規定・「少年大会特別規定」による。  
(2) 優勢勝ちの判定基準は次のとおりとする。  
①団体試合の個々の試合は、「僅差」（「指導」差が2）以上とする。チームの  
内容が同等の場合は代表戦を行う。代表戦で得点差がない場合は延長戦  
（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。  
②個人戦は、「有効」及び「指導1」以上とする。得点差がない場合は延長戦  
（ゴールデンスコア）により勝敗を決定する。
- (3) 試合時間 団体戦・個人戦とも3分間とする。延長戦（ゴールデンスコア）は  
無制限とする。
- (4) 試合順がきても試合場には上がらない選手がいた場合は、放送による呼び出しを1  
分間隔で行う。3回目のコールをしても上がらない場合は棄権したものと見なす。
- (5) (公財)講道館から正式に段位証書が交付されている有段者は黒帯を用いること。
- (6) 柔道衣にゼッケン（学校名・名字入り）を縫い付けて出場すること。  
①布地は白地（晒、太綾）  
②サイズは横30～35cm, 縦25～30cm  
・名字（姓）は上側 2/3 ・学校名は 下側 1/3  
③書体は太字ゴシック体とする。（明朝または楷書体でもよい）  
男子は黒色、女子は濃い赤色。  
④縫い付け場所は襟から5cm～10cm下部の位置で、周囲と対角線を強い糸で  
縫い付ける。  
※（公財）全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣（上衣・下穿・帯）  
を着用すること。
- (7) 女子は、上衣の下に白色又は白に近い色の半袖で無地のTシャツまたは半袖の  
レオタードを着用すること。※Tシャツのマーキングについては、全日本柔道  
連盟が定める規定（平成25年度4月1日より施行）に準ずる。
- (8) 柔道衣コントロールの際は、試合時に着けるサポーター等を着用して受ける  
こと。
- (9) 胸マーキング等について、道場名等は不可とする。

〈例〉

※周囲と対角線を、強い糸で縫いつける。



12 競技方法

(1) 団体戦

- ①男女とも参加12チームを3チームずつ4組に分け、各組でリーグ方式を行い、各組の1位4チームによって決勝トーナメント方式を行う。
- ②チーム間における対抗方式は男子1チーム5人、女子1チーム3人による紅白点取り方式で行う。
- ③チーム編成は、男女とも体重の重い者を大将とし、以下順次体重順とする。交代の選手と入れ替えた場合においても同様に体重順とする。試合毎の選手位置の入れ替えおよび、一度退いた選手の再出場は認めない。
- ④リーグ方式の順位は、次の方法によって決定する。
  - ア チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。
  - イ アにおいて同等の場合は、勝ち数の合計による。
  - ウ イにおいて同等の場合は、勝ちの内容により決定する。
  - エ ウにおいて同等の場合は、負け数の合計による。
  - オ エにおいて同等の場合は、負けの内容により決定する。
  - カ オにおいて同等の場合は、1名による代表戦を1回行い、決勝トーナメント方式への出場チームを決定する。(3校同等の場合は、代表者1名によるリーグ方式を以下の要領で1回行う。)
    - ・試合順は抽選で決定する。
    - ・試合ごとに代表者を代えることは認めない。
    - ・試合が続く場合は、3分間の時間を空ける。
    - ・トーナメント出場チームが決定した場合は、その後の試合は行わない。
    - ・リーグ方式を1回実施してもトーナメント出場チームが決定しない場合は、3者による抽選で決定する。
- ⑤トーナメント方式の順位は、次の方法によって決定する。
  - ア チーム間における勝ち数による。
  - イ アにおいて同等の場合は、内容により決定する。
  - ウ イにおいて同等の場合は、1名による代表戦により決定する。

(2) 個人戦

- ①男女とも各階級12名までによるトーナメント方式で行う。

13 表彰

- (1) 団体1～3位までの学校及び登録選手に、中国中学校体育連盟より賞状を授与する。また、男子優勝校には優勝旗(持ち回り)、女子優勝校には優勝カップ(持ち回り)を授与する。前年度優勝校にはレプリカを授与する。
- (2) 個人戦、各階級とも1～3位までの選手に中国中学校体育連盟より賞状を授与する。

14 参加申込

- (1) 各学校は、申込を所定の用紙に記入し、各県委員長に1部提出する。(様式1または2)
- (2) 申込〆切は**平成28年7月28日(木)正午**までを厳守する。委員長がまとめて申し込みを行う。ただしプログラム作成の関係上、出場校(選手)決定次第、専門委員長は一覧表に記入し、電子データを事務局に送付する。(別紙一覧表様式 専門委員長あてメール送信したものを利用。)
- (3) 申込先 伯耆町立岸本中学校内  
中国中学校柔道選手権大会事務局(河本 将和)  
〒689-4133 西伯郡伯耆町吉長90番地1  
TEL 0859-68-2260 FAX 0859-39-8027

- 15 組合せ (1) 団体戦は平成28年8月8日(月)鳥取県立武道館 会議室において抽選し、決定する。  
(2) 個人戦は平成28年8月1日(月)開催県実行委員会で抽選し、決定する。ただしその抽選会には開催県中体連役員が立ち会うものとする。
- 16 会議 (1) 専門委員長会議 日時 平成28年8月 8日(月) 11:00～  
会場 鳥取県立武道館 会議室  
(2) 男女団体戦抽選会 日時 平成28年8月 8日(月) 14:00～  
会場 鳥取県立武道館 会議室  
(3) 審判会議 日時 平成28年8月 9日(火) 10:30～  
会場 鳥取県立武道館 研修室  
(4) 監督会議 日時 平成28年8月 9日(火) 11:30～  
会場 鳥取県立武道館 研修室  
(5) 審判打合せ 日時 平成28年8月10日(水) 9:00～  
会場 鳥取県立武道館 研修室
- 17 宿泊 大会出場者(登録選手及び引率者)は、必ず大会実行委員会を通じて宿泊申込みを行うこと。大会中の連絡等については宿舎を通じて行い、宿泊をしないところについては学校に連絡する。  
詳細は、別紙宿泊要項を参照のこと。
- 18 その他 (1) 団体戦において、参加申込後、大会開催2日前(8月7日)までに限り、病気・負傷により選手変更(入れ替え)が必要になった場合は、当該中学校長から理由を添えて、選手変更届(様式は特に指定しない)を提出した場合、選手変更を認める。(原則として本大会に出場しないチームは全国大会への出場権を失効する。)  
(2) 個人戦において、参加申込後、大会開催2日前(8月7日)までに限り、病気・負傷により選手変更(入れ替え)が必要になった場合は、当該県委員長から理由を添えて、選手変更届(様式は特に指定しない)を提出した場合、選手変更を認める。(原則として本大会に出場しない選手は全国大会への出場権を失効する。)  
(3) 全国大会の出場については、団体戦・個人戦ともに各県大会の優勝チーム及び優勝者を推薦する。  
(4) 大会に参加する生徒は、事前に医師の健康診断を受けることが望ましい。大会中の不慮の負傷・疾病については応急処置を施す。  
(5) 開会式には全員参加を原則とする。  
(6) 体重測定(公式計量)・服装検査は、大会1日目(要項表記の時間)に実施する。公式軽量で合格しない場合は、失格とする。(時間内1回のみの計量とし、再計量は認めない。)  
(7) 計量の服装は、男子は下穿き、女子はTシャツと下穿きの着用を認める。(下着は認めるが、包帯、サポーター等の着用は一切認めない。)  
(8) 大会第1日目に参加者全員受付を行うこと。  
(9) 大会前日(8月8日)は鳥取県立武道館試合会場及び小道場の開放は行わない。また、8月9日は表彰式終了後に1時間程度、試合会場を開放する。  
(10) 中国大会の競技開催期間は2日間以内となっているが、天候等の関係で順延または競技方法の変更もあり得る。
- 19 連絡先 大会についての問い合わせは、下記連絡先とする。
- (1) 大会開催前 河本 将和(鳥取県中体連柔道専門委員長)  
勤務先 〒689-4133 西伯郡伯耆町吉長90番地1  
TEL 0859-68-2260  
FAX 0859-39-8027
- (2) 大会開催中 河本 将和(鳥取県中体連柔道専門委員長)  
大会会場 鳥取県立武道館  
〒683-0853 米子市両三柳3192-14  
TEL 0859-24-9300  
(第32回中国中学校柔道選手権大会事務局)